

食と農のシンポジウム I

in オホーツク

～オホーツクにおける動物産業の新たな可能性を求めて～



主催：株式会社東京農大バイオインダストリー

会場：網走セントラルホテル

日時：平成17年11月4日（金）

第一部 シンポジウム 15：00～

第二部 オホーツクNewミートフェア 17：00～

「食と農のシンポジウム・I」 in オホーツク

～オホーツクにおける動物産業の新たな可能性を求めて～

産官学による連携体制のもと、オホーツク圏での新規動物畜産業への新規事業者の参入を促し、また生産から流通に至るまでの新規産業としての具体的な課題点などを含め、産業としての可能性を検討するため、関係分野の専門家や技術者、経営者による講演と参加者の交流を深めるシンポジウムを開催します。

鳥インフルエンザ、BSE問題等からくる食肉への不安が高まるなか、エミュー・ダチョウなどが、第四の食肉として注目されてきています。第二部では、新たな食材を使った「食」としての魅力を体感していただき、関係者と市民との親睦を深める交流会を行います。

＜第一部 シンポジウム＞

1. エゾシカ養鹿の展開と課題（増子孝義）
2. エミュー・ダチョウ・エゾシカの食肉加工への利用（永島俊夫）
3. オホーツクにおける新たな動物産業の経済性（長澤真史）
4. 馬肉とヤギ乳・肉の特性（横濱道成）
5. 地鶏の飼育とその生産物（高谷弘志）

＜第二部 オホーツク Newミートフェア＞

馬肉、鹿肉、ダチョウ・エミューの肉と卵、ヤギ肉、ヤギ乳、鯨肉、地鶏肉を材料にした、一流シェフによる様々な料理をご用意致します。料理を楽しみながら、畜肉の理解と参加者同士の親睦を深めて頂きます。

なお、参加は会費制（2000円）となります。

＜賛助団体＞

東京農業大学

北海道網走支庁

日本オーストリッチ事業協同組合

オホーツク21世紀を考える会

オホーツク網走農業協同組合

網走管内エゾシカ研究会

東京農業大学生物資源開発研究所

網走市

オホーツクテクノプラザ

日本捕鯨協会

北海道立オホーツク圏地域食品加工技術センター